

劇
35ミリ
カラー／64分

文部省選定 第11回東京都教育映画コンクール銀賞 第18回毎日映画コンクール企画賞

- 企画
貯蓄増強中央委員会
- 協力
北海道阿寒郡鶴居村役場
NHK札幌
劇団新人会

スタッフ

- 製作
村山英治
高島道吉
- 原作
早船ちよ
- 脚本
千葉茂樹
- 演出
小林千種
- 撮影
佐藤 正
- 助監督
山崎定人
- 音楽
間宮芳生
- 照明
飯塚 茂
- 編集
沼崎梅子
- 録音
大橋鉄也
- 記録
吉田栄子
- 語り
宇野重吉
- 出演
永井柳太郎
荒川さつき
陶 隆
戸川暁子
岡部政明
北里深雪
小林十九二
関 京子
坂内弘治
戸田春子
他



北海道の北に広がる大湿原を隔てて、陸の孤島といわれる阿寒郡鶴居村は、戦前は放牧による馬の産地だったが、戦後は酪農によって生きようとしていた。しかし毎年、冬が迫ると生活に敗れて離農していく家族が絶えない。

村役場に勤める農業改良普及員の村田は、村の農家の相談相手になっているが、離農していく農家を見ると、どうにかならないものかと悩む。保健婦の藤井は、貧しい開拓農民の計画性の無さと互いに孤立している現状を指摘する。農協理事の岡本も何とか協同化をすすめようとするが思うにまかせない。

夏から短い秋。自然は素晴らしく、人々は無我夢中で働くが、冬の訪れとともに生活は一変する。連日吹雪が荒れ狂うと、牛乳の搬出もできなくなる。しかし、そんな中でも、かあちゃんと呼ばれる元気な女房たちにとって、冬は互いに顔をあわせて話し合える唯一の時期であった。働き者でカラッとした気性の開拓地のかあちゃんたちは、苦しい生活を少しでも楽にしていこうと話し合う中で結束を固めていく。これに村田や藤井、岡本も加わって力になった。やがて男たちも刺激されて酪農の協同化へと進んでいく。

毎年、冬の村には、美しい丹頂鶴が訪れて雪の原野に舞う。やがて、春が訪れると、昨年まではばらばらだった農家の人々の気持ちもひとつに溶け合い、小さな酪農経営を協同化して力を合わせて前途を開く希望を抱くのだった。